

■ビックリ予想2018

<p>クレディ・アグリコル証券会社 森田京平氏</p>		<p>トランプ大統領と金正恩の握手</p>
<p>JPモルガン証券 阪上亮太氏</p>		<p>日銀による複数回の10年ターゲット金利変更。 3%を上回る春闘賃上げ率。</p>
<p>ソニーフィナンシャルHD 尾河眞樹氏</p>		<p>米国が北朝鮮に先制攻撃を仕掛ける 基本的にはないと思うし、そう願っているもののトランプ大統領だけに何をするかわからない不確実性がある。</p>
<p>第一生命経済研究所 永濱利廣氏</p>		<p>80年前のデジャブ: 1937年シナ事変から日中戦争を経て、1938年に1940年開催予定の東京五輪を返上し、1939年から第二次世界大戦に突入したように、2018年米朝戦争から2020年開催予定の東京五輪が中止となり、2019年から第三次世界大戦。</p>
<p>大和証券 木野内栄治氏</p>		<p>・無利子永久国債の発行と日銀の引き受け。 ・「日経500種平均の1989年高値抜け！」</p>
<p>大和証券 壁谷洋和氏</p>		<p>北朝鮮を巡る軍事衝突 トランプ大統領の弾劾 サウジアラビア・イランの紛争ぼっ発</p>
<p>ニッセイ基礎研究所 井出真吾氏</p>		<p>日銀総裁に外部人材を登用 黒田総裁続投または現執行部メンバーの昇格でない場合、金融市場は「次の総裁はどんな社会実験をするのか!？」と動揺する。 天皇陛下の即位・消費税10%を控えて、政府がわざわざ危ない橋を渡るとは思えませんが・・・。</p>
<p>日本総合研究所 湯元健治氏</p>		<p>・北朝鮮、グアムに向けてミサイル発射、米中が平壤制圧の動きに出て米朝開戦へ ・英国のBrexit交渉は難航を極め、EUとの間で移行期間も設定できずハードブレグジットが現実 ・中国債務問題が深刻化、株安が止まらず世界同時株価下落へ</p>
<p>BNPパリバ証券 中空麻奈氏</p>		<p>・(ないと思うが)トランプ大統領辞任ないしは弾劾 ・(ないと信じたいが)アラムコIPOの失敗 ・(ないと信じたいが)金融政策変更の失敗</p>
<p>ブーケ・ド・フルーレット 馬淵治好氏</p>		<p>中国が北朝鮮に軍事侵攻、新政権樹立。市場経済型共産主義国家となる。◇先進主要国で大規模なサイバーテロ。インフラが長期間麻痺。</p>

<p>法政大学大学院教授 真壁昭夫氏</p>		<p>日銀が異次元金融緩和の正常化に着手すること</p>
<p>三井住友アセットマネジメント 市川雅浩氏</p>		<p>①トランプ米大統領辞任、②米朝首脳会談の実現、③日本政府による脱デフレ宣言、④世界的なインフレの加速、⑤中国の景気後退</p>
<p>UBS証券 青木大樹氏</p>		<p>アップサイド: 米国経済成長率が3%超まで加速。米国10年金利は3%に到達し、FRBによる利上げは4回、ドル円は125円程度まで到達する。</p> <p>ダウンサイド: 中国経済の資金流出が再び加速。大幅な元安から規制強化、経済成長率が4-5%台まで大幅に悪化。中国発のグローバル・リセッションが意識される。</p> <p>サウジアラビア・イラン間での紛争勃発。ホルムズ海峡閉鎖により、原油価格は1バレル80ドル程度まで上昇。一部新興国にはポジティブであるが、日本には大きなネガティブとなろう。</p>
<p>楽天証券 土信田雅之氏</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ビットコインバブル崩壊で他の金融市場も大混乱 ・トランプ政権が倒れる